

仏の世界を、「三千世界」とか「大千世界」とか言いますが、これは略称であり、正しくは「三千大千世界」です。

須弥山を中心としたひとつの小世界が「須弥山世界」	—————	太陽系	
「須弥山世界」が千集まって「小千世界」	—————	銀河系（天の川銀河）	
「小千世界」が千集まって「中千世界」	—————	銀河団	
「中千世界」が千集まって「大千世界」	—————	超銀河団	1 如来が管轄する範囲
「大千世界」が集まって	—————	全宇宙	密教では大日如来の世界

大千世界は、ひとりの仏様が教化できる範囲ですので、仏国土とも言います。そしてその数について釈迦は、ガンジス川の砂の数程も仏様はいる、と言っていますし、我々の住む大千世界「娑婆」と、阿弥陀仏の住む大千世界「西方極樂浄土」の間には、十万億の大千世界があるとも言っています。

阿弥陀如来	西方極樂浄土		
薬師如来	東方浄瑠璃世界		
毘琉遮那如来	蓮華蔵世界		
大日如来	蜜蔵国土	—————	密教系の仏様
釈迦如来	無勝莊嚴国		

我々が住んでいる大千世界の名前は、「娑婆」（サハ－ s a h a）です。この中にある、「あるひとつの須弥山世界」の「南瞻部洲」と言う島に住んでいます。

このようなことは、阿毘達磨俱舍論に書いてあるそうです。この中には、大きさも書いてあり、1由旬 = 7 kmと計算されるようです。よって、以降に書いてある図面の寸法は、この計算によっています。

仏国土は、仏が作るのでしょうか、それとも既にあるのでしょうか。

我々が住む大千世界の名前は判りましたが、中千世界 小千世界 須弥山世界 の名前は何と言うのでしょうか。

釈迦如来と菩薩は何処に住んでいるのでしょうか。

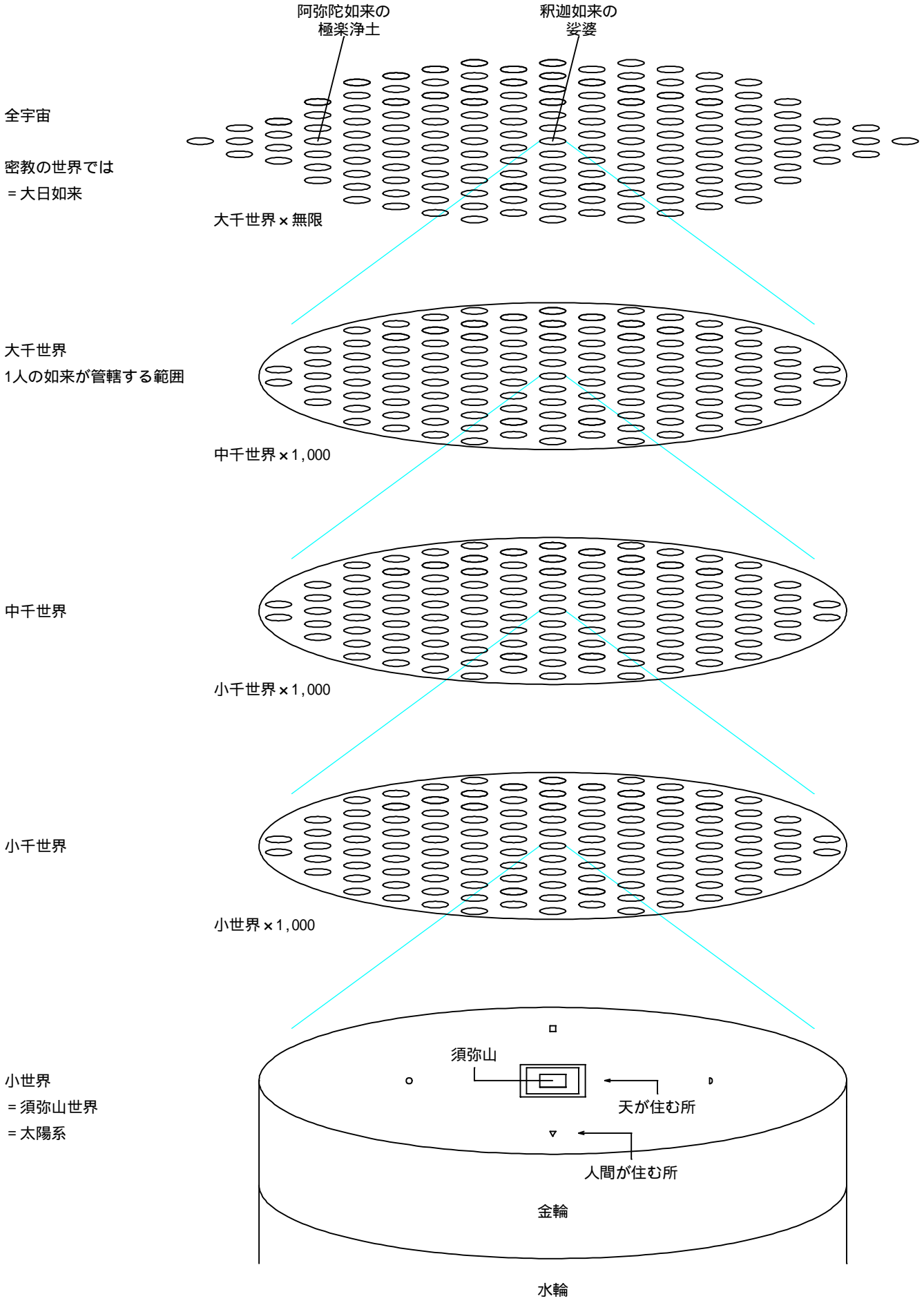
天界には、誰が住んでいるのでしょうか。

小世界には風輪も含まれるように書かれていますが、もしかしたら含まれないのではないのでしょうか。金輪の直径は、地球と金星の距離の1 / 5程しか無いのに、風輪の大きさは、全宇宙よりもはるかに大きいのです。ひとつの風輪に、たくさん大千世界が浮いている、と考える方が自然です。

三千大千世界

上下にも広がっているが
描けないので省略

この間に十億の大千世界がある



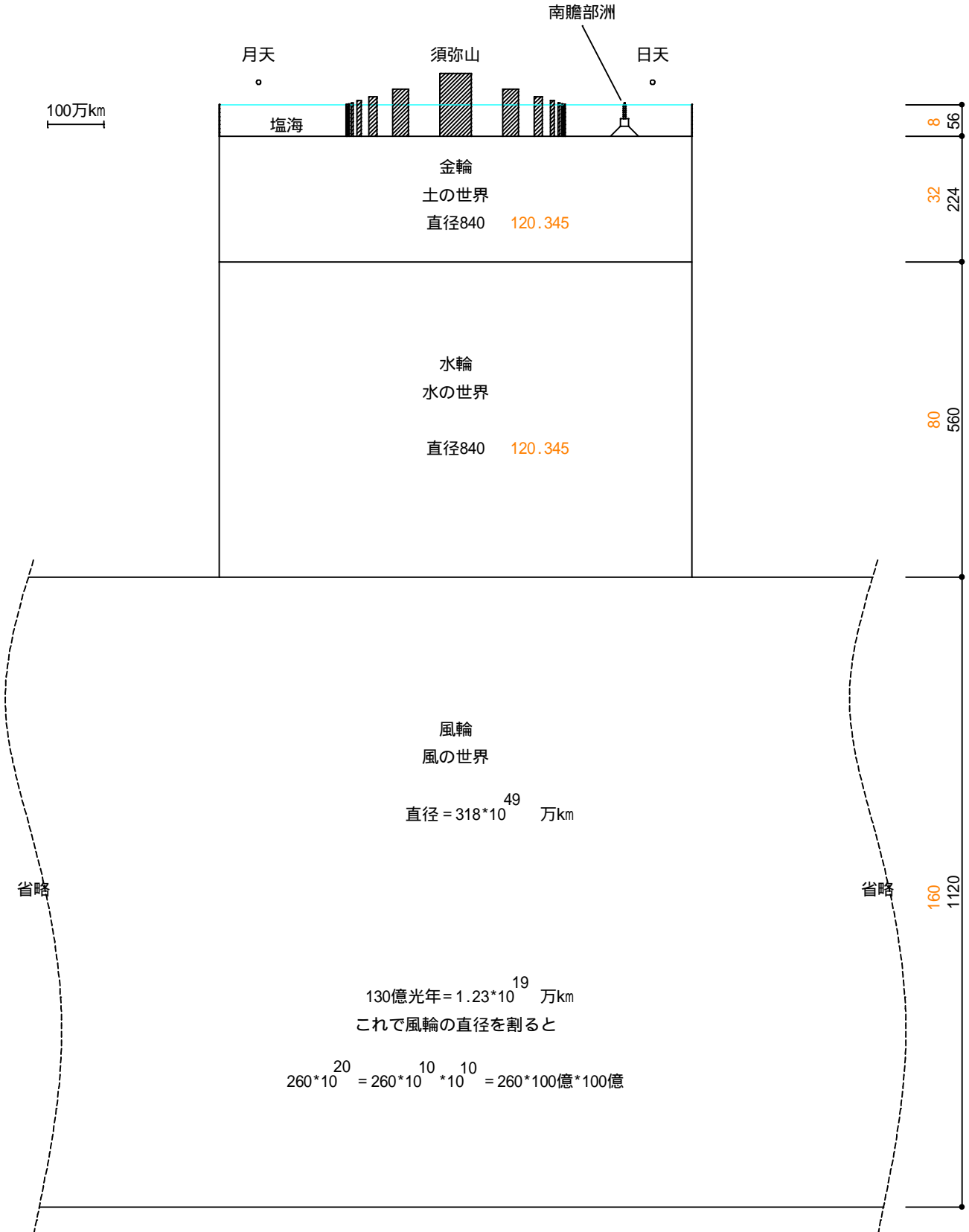
須弥山世界の断面図

単位 万km

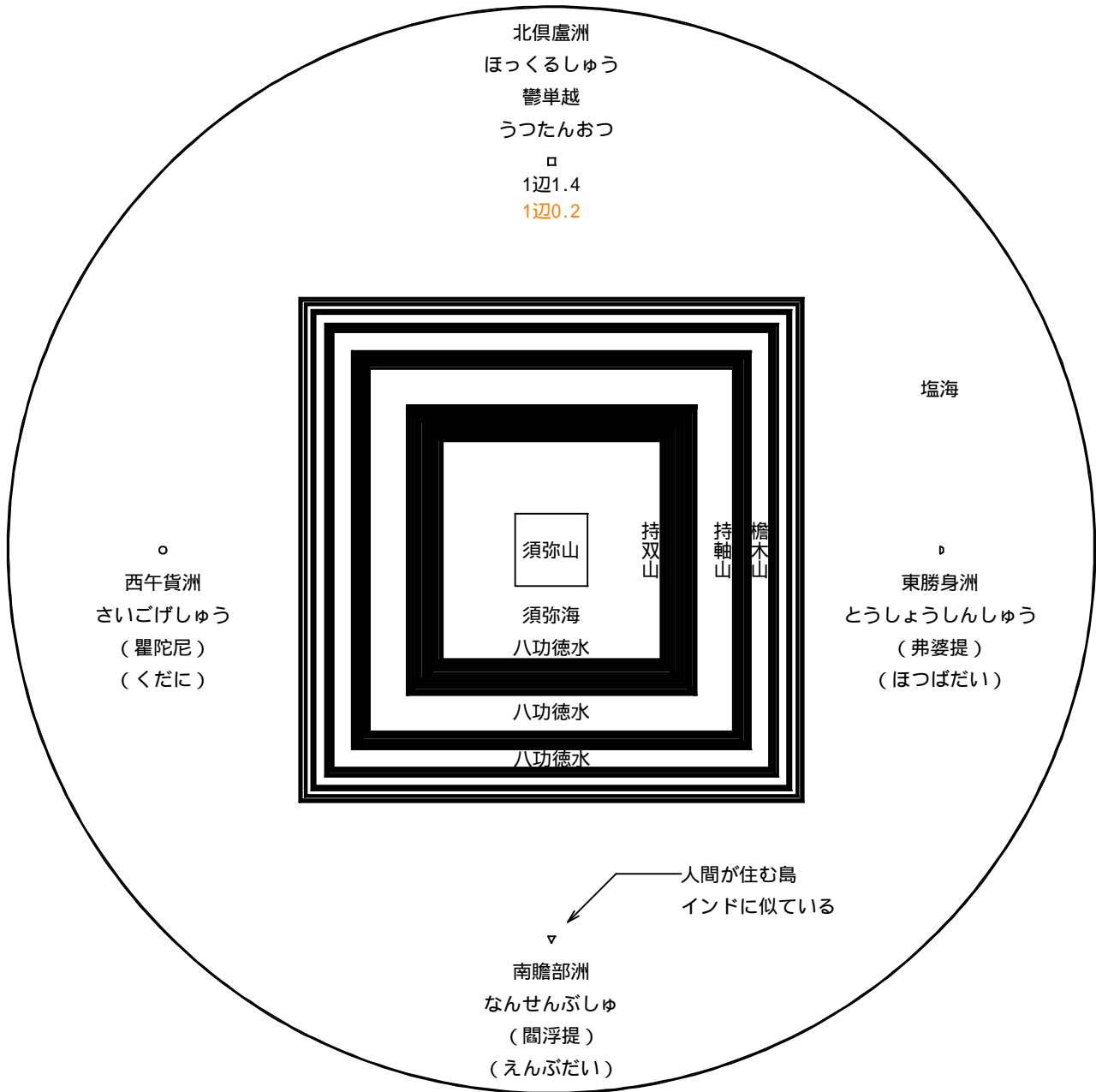
単位 万由旬 = 7万km

地球～月間 38.4万km
 太陽～地球間 15000万km
 太陽～海王星間 450000万km
 1光年 9.5×10^8 万km

縦横の比率は正確です。



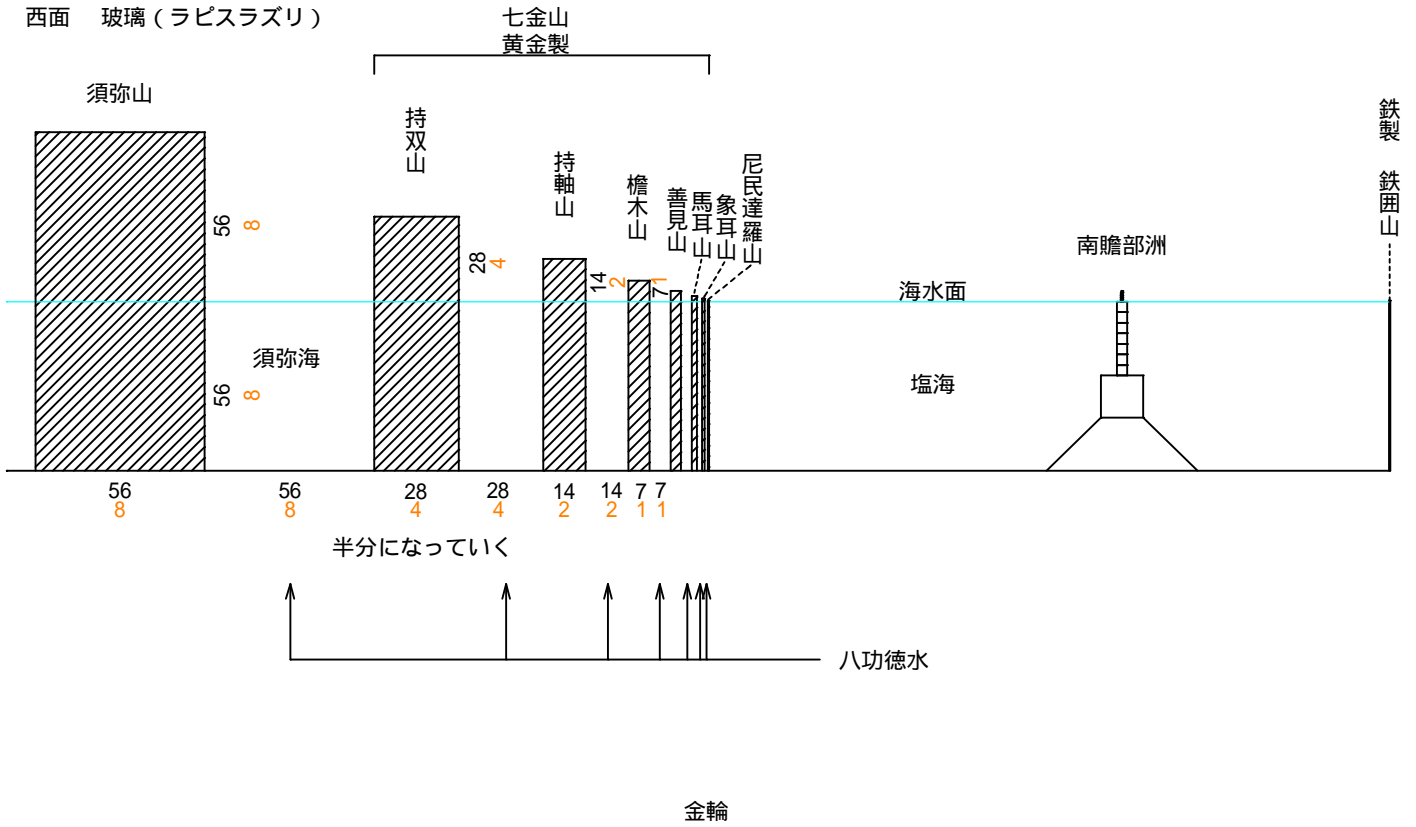
須弥山世界の平面図



100万km
地球の直径 12756km
地球の大きさ ・ ほぼ同じ大きさ

須弥山世界の拡大図

- 北面 黄金
- 東面 白銀
- 南面 瑠璃（水晶）
- 西面 玻璃（ラピスラズリ）



須弥山の詳細図

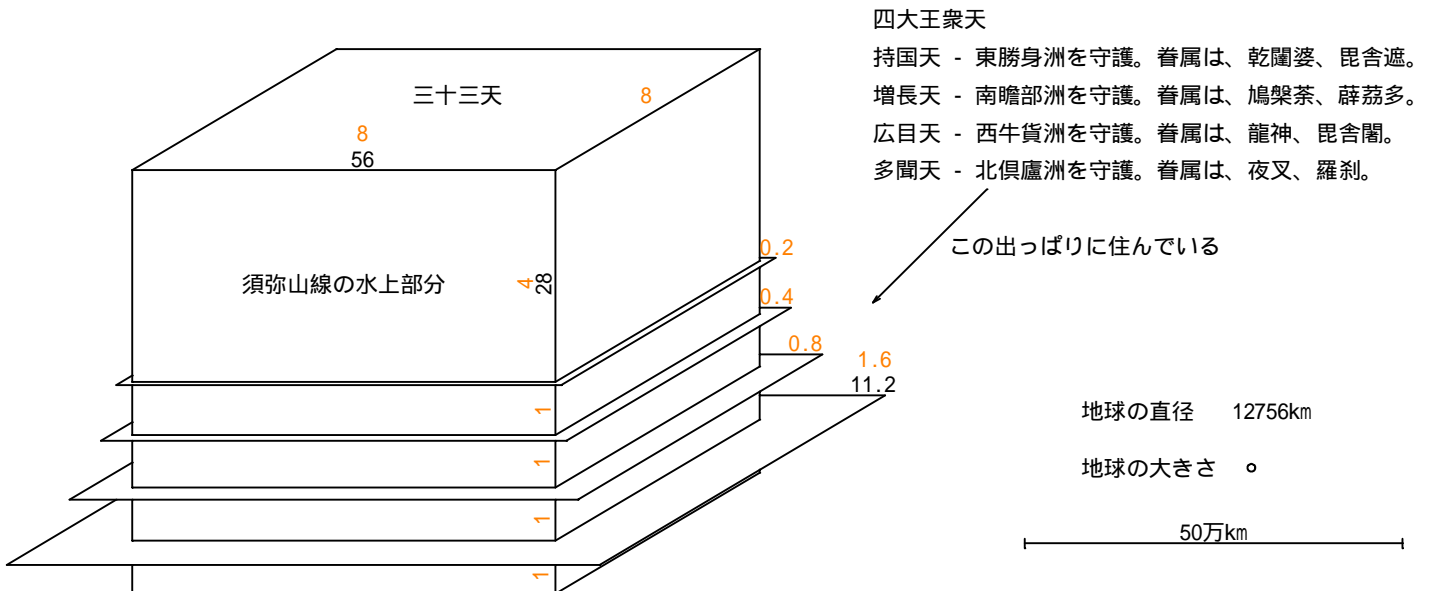
地居天を除き
空中にある

神様の住む場所

神様の住む場所					距離	須弥山上空						
天界	無色界 むしきかい 物質を超越 寿命だけ	四天	非想非非想処	ひそうひひそうしょ	ここが有頂天です。		134217728					
			無所有処	むしようしょ			67108864					
			識無辺処	しきむへんしょ			33554432					
			空無辺処	くうむへんしょ			16777216					
	色界 しきかい 物質的な 制約だけが 残る世界	第四禅天	色究竟天 善見天 善現天 無熱天 無煩天 広果天 福生天 無雲天	色究竟天	しききょうてん		阿迦尼た天あかにたてんとも言う。 色究竟天を有頂天とする場合もあり。	8388608				
				善見天	ぜんけんてん			4194304				
				善現天	ぜんげんてん			2097052				
				無熱天	むねつてん			1048576				
				無煩天	むぼんてん			524288				
				広果天	こうかてん			262144				
				福生天	ふくしょうてん			131072				
				無雲天	むうんてん			65536				
				四禅天 性別無し	第三禅天			遍浄天 無量浄天 少浄天	遍浄天	へんじょうてん		32768
									無量浄天	むりょうじょうてん		16384
									少浄天	しょうじょうてん		8192
				初禅天	第二禅天			極光浄天 無量光天 少光天	極光浄天	ごくこうじょうてん		4096
	無量光天	むりょうこうてん					2048					
	少光天	しょうこうてん					1024					
	欲界 よくかい 六欲天 性別有り	空居天 くうごてん	他化自在天 楽变化天 兜率天 夜摩天	他化自在天	たけじざいてん		第六天とも言う。 覩史多天としたてんとも言う。 焰摩天・炎摩天とも言う。	512				
				楽变化天	らくへんげてん	256						
兜率天				とそつてん	128							
地居天 じごてん	三十三天	四大王衆天	三十三天	さんじゅうさんてん	帝釈天を代表とする33の神様。 四天王と配下の夜叉。	64						
			四大王衆天	しだいおうしゅてん		32						
						16						
						8						

地居天は、須弥山の中腹から頂上まで。
空居天から四天までは、須弥山の上になる。

弥勒菩薩が修行しているところ



南贍部洲拡大図

